

## 【回答者：町長】

Q： 私達が子供の頃、春の田植え、秋の収穫等農繁期も終わり一段落したときに、おばあさんや母親達が疲れた身体を温泉につかって元気を取り戻し、また農作業に頑張った様子が思い出されます。米や味噌を背負うれしそうに友達数人と出かけた風景を思い出します。つまり湯治という楽しみです。今当町ではロータスインというすばらしい温泉があります。これを今以上に利用されるよう昔の「湯治」のような気楽な気分で自炊をしながら2～3日位朝からゆっくり温泉に入れる様な制度はいかがでしょうか。自炊生活にはコテージの利用も併せて考えてよいでしょう。

(70代 男性)

A： 町民の皆さんの健康増進とリフレッシュに寄与できるのであれば、「湯治」プランは大いに奨励すべき提案だと思えます。コテージを利活用しての自炊湯治は新たな試みであり、これからの温泉健康保養センター「ロータスイン」の新企画として、温泉プランに加えてもらうよう町振興公社へ提案していきたいと思えます。

回答日： 平成24年6月19日 担当課： 商工観光課

Q： 西会津町には道の駅やインターチェンジが出来て、新潟方面への行き帰りに人が多く立ち寄るポイントになっていると思いますが、近年休憩時にスマートフォンや携帯電話、ノートパソコンなどを使用する人が増えてきていると思います。その際に利用が増えつつあるのは、Wi-FiやWi-MAXに代表される無線通信やモバイル通信であると思います。

そこでお伺いしたいのですが、町全体の無線・有線を含めた通信環境について今後強化していく政策などはありますか。山奥でも様々な無線通信が利用できる町、ということになれば、今までは通信が使えるところまで行こうと西会津を素通りしていた人が「よりっせ」などに立ち寄る可能性が高まり、それが町の活性化にも繋がる一つの手段であると考えますがいかがでしょうか。

(20代 男性)

A： 情報通信社会が日々進展していく中で、新たな行政サービスが必要になっています。町を訪れる人も様々で、スマートフォンやノートパソコンにも対応できる無線通信は必要と思えます。今後これらの情報通信整備については、十分検討していきたいと思えます。

回答日： 平成24年6月19日 担当課： 企画情報課